

広島化成株式会社の新組織体制について

2021年3月25日

広島化成株式会社

広島化成株式会社は、4月1日付で西浩一社長(63)が監査役に就き、後任に宮地幹治取締役管理本部長(42)が社長となる運びとなりますことをお知らせ致します。

尚、本件は3月31日開催の定時株主総会および取締役会において、正式に選任される予定
です。

さて、昨年度は、世界的に感染症との闘いに明け暮れた試練の一年となりました。弊社も例外なく対応を迫られましたが、その中でも新しい生活様式に適応すべくグループ一丸となり、邁進して参りました。そして、この度77期を迎えるにあたり、新体制をご案内申し上げます。

当社は1947年に福山市松浜町の地で創業以来、70年以上に亘り、お客様・取引先そして地域の皆様にご愛顧賜って参りました。つばめ印の履物をご記憶の方も多いと存じます。

その中で、ゴム製品事業の工業用品事業本部では、PT・HIROSHIMA KASEI INDONESIA (2016)、HKK株式会社 (2017)、HHSJ株式会社 (2018) 設立、プラスチック製品事業の化成品事業本部では広化東海プラスチック株式会社 (2020) 設立など、グループ体制の強化を進めて参りました。

今後、ウィズコロナの時代、更に不透明感を増す時代で持続的に発展する経営を進めていくために、この度、体制を刷新致します。

広島化成株式会社の代表取締役会長は引き続き宮地治夫が務めさせていただきますが、「代表取締役社長」はこれまでの西浩一から宮地幹治が引き継ぐことになりました。

宮地幹治は、2005年の入社以来、化成品事業、シューズ事業、子会社の立ち上げなどを経験し、7年前より取締役管理本部長を務めております。当社が紡いで参りました歴史や理念を十分体得した上で、この度、社長に就任致します。

一方で、長年お世話になりました代表取締役社長の西浩一は退任させていただき、今後は監査役としてコーポレートガバナンスの推進を務めさせていただきます。

当社はグループ企業全体を統括するために、人財・事業・資産の見直しによるグループ全体の組織の改革、コスト構造の改革を行い、強固な基盤を構築するために専門性を高めます。

そして、グループ一丸となって「足元から愛されるものづくり」の水準を一層高めることを目標とし、新体制以降も努力し続ける所存です。引き続き、ご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

敬具

【新社長略歴】

宮地幹治(みやち かんじ)

広島大学経済学部卒

2005年広島化成株式会社入社。化成品事業部・シューズ事業部・子会社出向を経て2014年4月より取締役管理本部長（現職）。

広島県福山市出身 1978年生

本件に関わるお問い合わせ

広島化成株式会社

総務部 柳田（広報担当）：084-922-7200